※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	詳述政治・経済（実教出版）						
副教材等	最新図説政経（浜島書店）、４ステージ演習ノート政治・経済（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・政治・経済上の語句やデータは教科書や資料集を活用して、できるだけ自分で調べて考察することを求めます。その上で現代の社会問題に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察してもらいたいと思います。
・新聞を読んだり、ニュースを見たりする習慣を身につけ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理についての自覚を深めてもらいたいと思います。
・地理歴史の科目や本校での「総合的な探究の時間」で学んだことを活かしつつ、地理的視点や歴史的視点を合わせた上で、政治・経済上の観点から国際社会における日本の果たすべき役割や自らの生き方について考察してもらいたいと思います。

2　学習の到達目標

・政治のしくみや経済のしくみを深く理解し、民主主義の本質を理解するとともに、実生活とのつながりに気づく。
・現代の社会問題、国際関係について主体的に考察し、広い視野から公正に判断する力を養う。
・良識ある公民として必要な能力と態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	政治や経済の諸事象と人間としてのあり方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。また、政治や経済と私たちの実生活にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	政治や経済と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	政治や経済にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	民主政治の基本原理	・政治と法 ・民主政治の原理と発展 ・世界の政治体制 ・民主政治の混迷と課題	a: 政治と法の規範を理解するとともに、各国の政治体制の特色を理解する。 b: 民主政治における国家と個人のあり方を考察する。また、史料等を活用し、近代民主政治を確立した学説や理論などの確認を行う。 c:民主政治が私たちの生活とかかわっており，民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深める。	定期考査	定期考査 授業内課題	授業内ワーク 提出課題
	日本国憲法の基本的性格	・日本国憲法の成立 ・平和主義 ・基本的人権の保障 ・人権のひろがり	a: 日本国憲法の成立の経緯について理解し、平和主義の理念と日本国憲法で保障されている権利の内容を理解する。 b:日本の安全保障や基地問題を考察するとともに、人権問題に関するさまざま判例を参考にさまざまな視点に立ち考察を深める。また、時代の変遷とともに出現した新しい人権の意義とそのあり方について考察する。また、政府の憲法解釈の変遷過程を歴史的経緯の中で考察し、憲法で保障されている基本的人権がどのような形で具体的に適用されているのかを調べる。 c: 日本国憲法の成立過程の歴史的経緯と平和主義の意義について主体的に考察を深める。	定期考査	定期考査 授業内課題	授業内ワーク 提出課題

※令和４年度以降入学生用

	日本の政治機構	・立法・行政・司法・地方自治	a:日本の政治制度のしくみについて、公民的視点から理解を深める。 b:日本の政治制度のそれぞれの課題について考察する。 c:日本の立法・行政・司法および地方自治について、自らの関りを主体的に考察する。	定期考査	定期考査 授業内課題	授業内ワーク 提出課題
	現代日本の政治	・戦後政治の歩み ・選挙制度と政党 ・政治参加と世論	a:日本の政党政治の歩みとその特色について学習し、さまざまな課題についても理解を深める。 b:現代の日本の政治制度を戦前の政治制度と比較しながら考察を深める。また、選挙制度のしくみを理解し、それぞれの制度がもつ長所や短所が説明できるよう考察を深める。 c:選挙権年齢の引き下げの意義を理解し、公民としての政治への関心を高める。	定期考査	定期考査 授業内課題	授業内ワーク 提出課題
	現代の国際政治	・国際政治の特質と国際法 ・国際連合と国際協力 ・現代国際政治の動向 ・核兵器と軍縮 ・人種・民族問題 ・国際政治と日本	a:冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れを理解する。また、核軍拡から核軍縮への流れを理解する b:国際連盟・国際連合の組織と役割が理解でき，国連の現状と課題について考察する。また、国際政治上のさまざまな課題について考察する。さらに国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が認識でき，国際問題について自分なりの意見を持ち，他者にも説明できるようになる。 c:国際政治と日本そして私たち一人ひとりの関係について考察する。	定期考査	定期考査 授業内課題	授業内ワーク 提出課題

※令和４年度以降入学生用

後期	経済社会の変容	・資本主義経済の発展 ・グローバル化と現代資本主義経済	a:歴史的な変遷の中から時代ごとの経済理論について学習する。 b:資本主義経済の変遷を学び、経済のグローバル化の意義について考察する。 c:これからの資本主義経済のあり方について主体的に考察する。	定期考査	定期考査 授業内課題	授業内ワーク 提出課題
	現代経済のしくみ	・市場経済 ・現代の企業 ・国民所得と経済成長 ・金融のしくみ ・財政のしくみ	a:現代経済のしくみについて、基本原理を理解し、今日的課題について考察を深める b:現代の企業の特徴を学習し、経済統計の指標について、その動向を考察する。また、市場経済の原理、金融のしくみについて、資料を活用して理解を深める。さらに、今日の日本の財政上の課題について考察する。 c:現代の企業の CSR について考察を深める。	定期考査	定期考査 授業内課題	授業内ワーク 提出課題
	現代経済と福祉の向上	・日本経済の歩み ・日本の中小企業と農業 ・国民の暮らし ・環境保全と公害防止 ・労使関係と労働条件の改善 ・社会保障の役割	a:戦後日本経済の変遷を学び、日本経済の諸課題についての理解を深める。 b:日本の農業の現状、消費者問題、環境問題、労働問題などを考察し、解決策について探究していく。日本経済のさまざまなデータを整理し、それぞれの特徴をつかむ。 c:戦後の日本経済の歩みを振り返り、現代の日本経済の諸課題を考察する。	定期考査	定期考査 授業内課題	授業内ワーク 提出課題

※令和４年度以降入学生用

	世界経済と日本	・商品・資本の流れと国際収支 ・国際経済体制の変化 ・金融のグローバル化と世界金融危機 ・地域経済統合と新興国の台頭 ・経済協力と人間開発の課題	a:外国為替相場など市場の動向を理解し，為替相場の変動が経済にどのような影響を与えるのか考察する。 b: 外務省や国連のホームページなどを参照し，国際社会や各国の課題を知る。 c:国際社会について自分なりの展望を持ち、発展途上国の現状を知り，貧困や飢餓などの克服のために自らがどのようなことができるかを考察する。また、国際経済の観点から主体的に国際社会の課題を考察する。	定期考査	定期考査 授業内課題	授業内ワーク 提出課題
	現代社会の諸問題	・政治・経済上のテーマ別学習	a:各テーマの課題を正しく捉え、その解決と新たな課題について理解を深める b:日本や国際社会の諸課題の論点を整理し、探究のためのデータを活用する。 c:政治・経済上のテーマを通して、さまざまな課題について関心を高める。また、それぞれの課題とその解決に向けた探究を行う。	定期考査	定期考査 授業内課題	授業内ワーク 提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度